

1. 研究目的

塾に通う小学生を心配して携帯電話を持たせる保護者も多くいるが料金が高い・小学生に携帯を持たせるのには抵抗があるという考えの保護者も多くいる。そんな保護者でも安心して小学生を塾に向かわせられるものを考え、小学生が簡単にいつでも身に付けられ機能が活用出来るものが必要なのではないかと考えた。

今回私は塾に通う女兒をターゲットにした塾に通うためのサポート用品を提案したいと思う。

2. 調査と分析

夜9時以降に帰宅する塾通いの子どもに持たせる物で最も欲しいと思っている機能を調べてみると親に居場所を知らせる機能、声で連絡を取ることが出来る機能、ガードマンが駆けつけてくれるサービス、自動車事故防止の為にライト機能等の結果になった。

保護者がなぜ子どもに携帯を持たせるか小学校3年生くらいの女兒の親子に話を聞いてみた。携帯を持っていた理由は「GPS機能がついているし持たせてると安心」といった理由で「特に他の防犯対策はしていない」や、「携帯を持たせてはいない。携帯を持っていても友達とのメールに使うだけだと思っている」といった理由だったが「携帯のような機能がなくてもGPSなどはあったら安心」などという答えも返ってきた。

今までの商品を見ていくと高学年の子どもが防犯グッズを持たなくなってしまう理由の多くが持っていて楽しい、おしゃれではないといった理由だった。防犯ブザー・反射キーホルダーもカバンにつけるといった物が多く、カバンを手放してしまえばもう身を守るものがなくなってしまうのが現状と言える。

3. コンセプトの立案

「便利で安心感のある塾通いサポートセット」
必要なものをコンパクトに収納し、身に付けられて小学生が喜ぶおしゃれなものを提案する。

4. デザイン展開

塾通いに必要なサポート用品として「Suica」
「防犯ブザー」「GPS機能」「ライト機能」を

取り上げ、これらをひとつにまとめて手放さずに身につけられるように考えた。

一案は腕につけるブレスレットのタイプで防犯ブザーの使い方をスイッチタイプにした。スイッチタイプでは誤作動が多いといった問題点を解決するためにも二か所同時に押すタイプにした。ライト機能は地面に向けて発光するタイプにし、コートを着けていても地面を照らせるようにした。

二案はネックレスと指輪のセットのものにした。ネックレスは従来の引き抜きタイプのものにして万が一の場合は首に残ったGPSで子どもの居場所を確認出来るものにした。ネックレスと別にある指輪にはSuicaを着けた。

同時に行ったアンケートでは小学生が着けるアクセサリにはカラフルで色が選べるものが良いといった結果だったため、簡単に身に付けられるようにしてカラーバリエーションはポップなものを中心にして、肌身離さずに持てるものにした。

5. 完成図



6. 結論

アクセサリ感覚のものというのは小学生も興味を持てるものを作れたと思い、小学生が肌身離さず持ち歩くものとしての目的は果たせたように思えた。

機能面も必要とされていた機能を入れることが出来たと思う。その反面ユニットを入れた結果分厚くなってしまってスマートさにやや欠けるという反省点がある。

小学生のファッションというのは固定出来るものではなく、全ての小学生に対応できるものではなかったという点については課題を残したと思う。